

入場無料

# 夢と絆

～拉致問題の  
風化に抗して～

「北」での24年間は、「夢」と「絆」を完全に断ち切られる過酷な時間だった。監視下で自由を奪われ、将来も見えない絶望の中で生きるしかなかった。帰国後も拉致問題は解決しておらず、政府認定被害者だけでも12人が今なお日本へ戻る事ができていない。蓮池氏は「全員の帰国を果たすまで終わりではない。日本人が拉致問題を忘れていないことを北朝鮮に示し続けるべきだ」と強調する。

拉致は現在進行形の問題であり、国民が関心を持ち続けることが重要だと訴える。拉致被害者が奪われた「夢」と「絆」を自分自身の人生に置き換え、その大切さを考えてほしいと話す。

講師

は す い け か お る  
**蓮池 薫**さん

(新潟産業大学経済学部特任教授)

日時

令和8年 **1月17日** **土**

10:00～11:30(開場 9:30)

会場

**いなっせ6階**  
**「ニシザワいなっせホール」**

駐車場:いなっせ、セントラルパーク、  
伊那市駅前、伊那図書館 各市営駐車場

事前申込み必要



右の二次元コードからお申し込みください。  
定員に達し次第、申込終了となります。

**プロフィール**  
1957年新潟県生まれ。中央大学法学部在学中の1978年に北朝鮮に拉致され、24年間拘束された。後に帰国し、市役所勤務を経て新潟産業大学で職員・講師として働きつつ、2005年に中央大学へ復学し、2008年に卒業。その後、新潟大学大学院修士課程を修了し、新潟産業大学で准教授を経て特任教授として韓国語や韓国文化を教えている。  
2005年から韓国語作品の翻訳を開始し、小説『孤将』、『私たちの幸せな時間』、『トガニ』、詩集『ハル 哲学する犬』、ノンフィクション『走れ、ヒョンジン!』など20冊以上を出版。著書には『蓮池流韓国語入門』『私が見た『韓国歴史ドラマ』の舞台と今』『半島へ、ふたたび』などがあり、新潮ドキュメント賞も受賞している。

【ご来場のお客様へのお願い】発熱、風邪の症状がある方は来場をご遠慮ください。

主催:伊那市教育委員会 共催:まほらいな市民大学、伊那市保育協会

問い合わせ先:伊那市教育委員会 生涯学習課 TEL:0265-78-4111(内線2721) E-mail:sgs@inacity.jp